



一重高田草魚

由子夏冬作

十七編下

特別
~13
4271
32



八犬傳

十七編上

特別
~13
4271
31



特別
~13
4271
31

十七編上

辛亥の冬十二月の頃短景と夜小繼て颯々たる松風の音と友とて書と讀む字
 窓小訪に來る者ハ祖父の時より舊識多し文溪堂の主人未意甚麻公と尋
 ぬる小四五年先つ頃より這書賈が刊行せる國字讀ハ犬傳の合巻ハ彼麒麟小
 附く青蠅多し千里の外もて行る現唐山ある下俚巴人其曲高からざる故小
 和考ののり衆多是策子由亦其類也巧致の文ハ刪去りて推蒙の爲ま
 解し易きを旨と然る小是ま抄録せし者いさう故のありと本編より後々
 生る予の抄録と賜と乞ふ祖父の作と抄録するの面目ある小似されども拙は
 いかにせんと固辞再三及ぶも聴れざるに熟考ある小舊識といひその懇情を
 強顔く推辞むも本意あるねやうや小兼引つ燈下小売と筆を添て夫々
 斯と曾子と世の朝由三省せし恥赫多しと序びて白地小誌を小あん
 嘉永五寺春稿成同癸丑初春發市 鳳簫菴琴童識

大傳一編

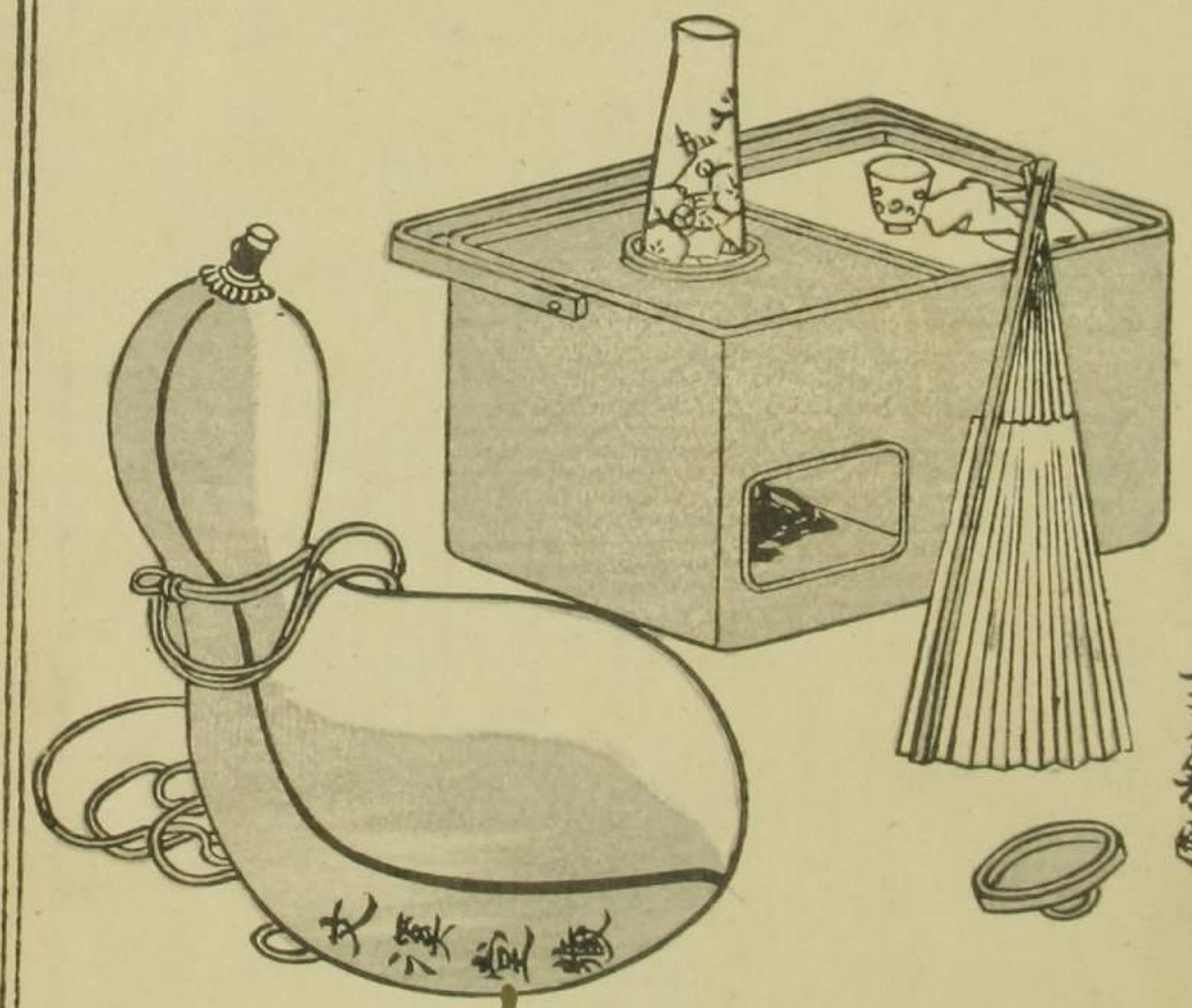
113
4271
21

由亭琴童識
 一勇齋園芳煙

假名讀

ハ犬傳

十七卷



廿方幾画



松風
 羽雲
 極き
 山
 神
 松風

東太

團五



赤岩一角
 澆鬼
 仇
 天のつ

節婦
 雛衣

つぎに
あきお
あひすけ
あつたの
あつたの
あつたの
あつたの
あつたの
あつたの



かみ
いさ
あきお
あつたの
あつたの
あつたの

あつたの
あつたの
あつたの
あつたの
あつたの
あつたの
あつたの
あつたの
あつたの
あつたの

あつたの
あつたの
あつたの
あつたの
あつたの
あつたの
あつたの
あつたの
あつたの
あつたの

あつたの
あつたの
あつたの
あつたの
あつたの
あつたの
あつたの
あつたの
あつたの
あつたの



あやしき用由
又うらつたに
ゆふそのあえ
やまのまま
うりかきし
ひそし
まはし
そのトラス

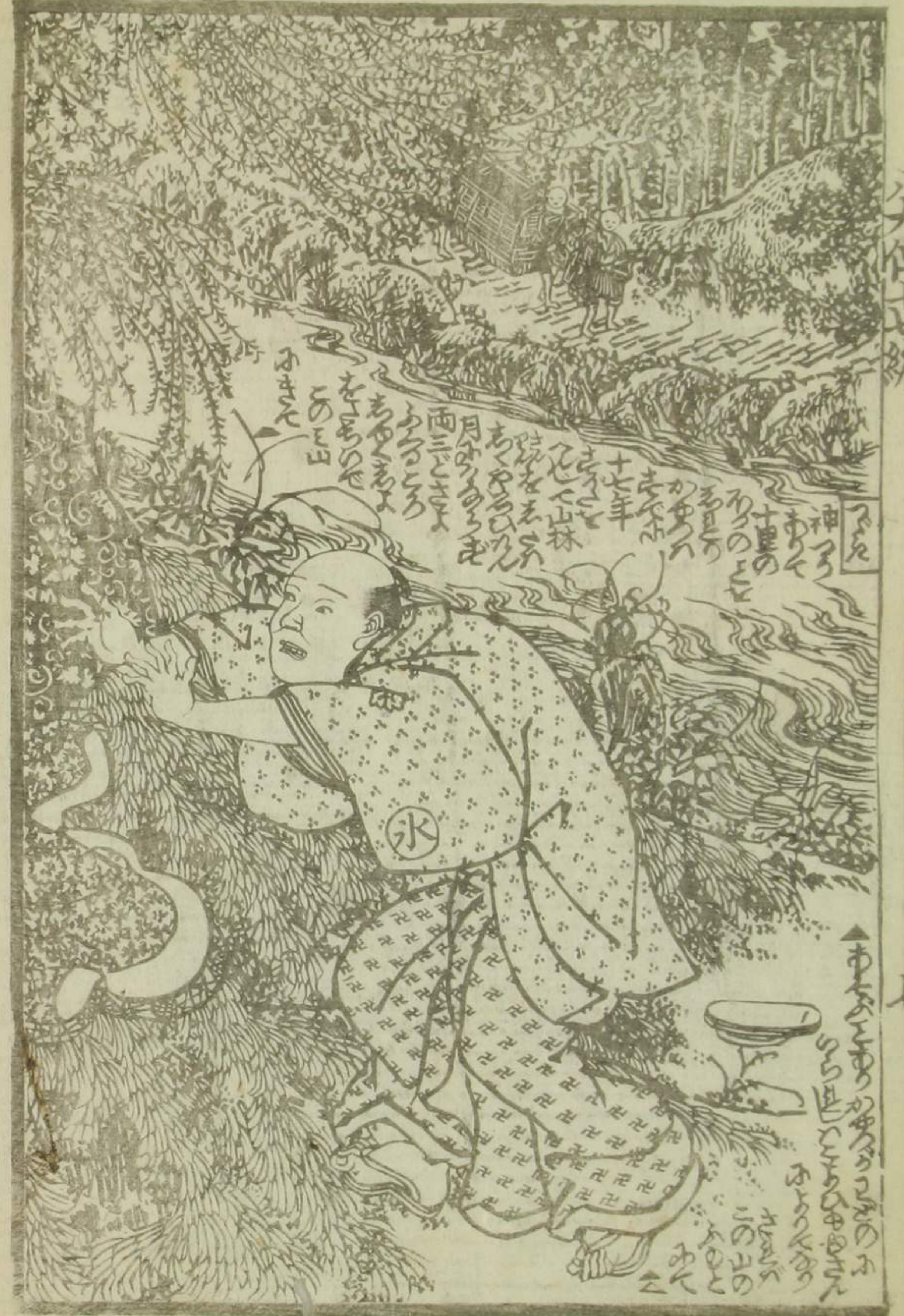
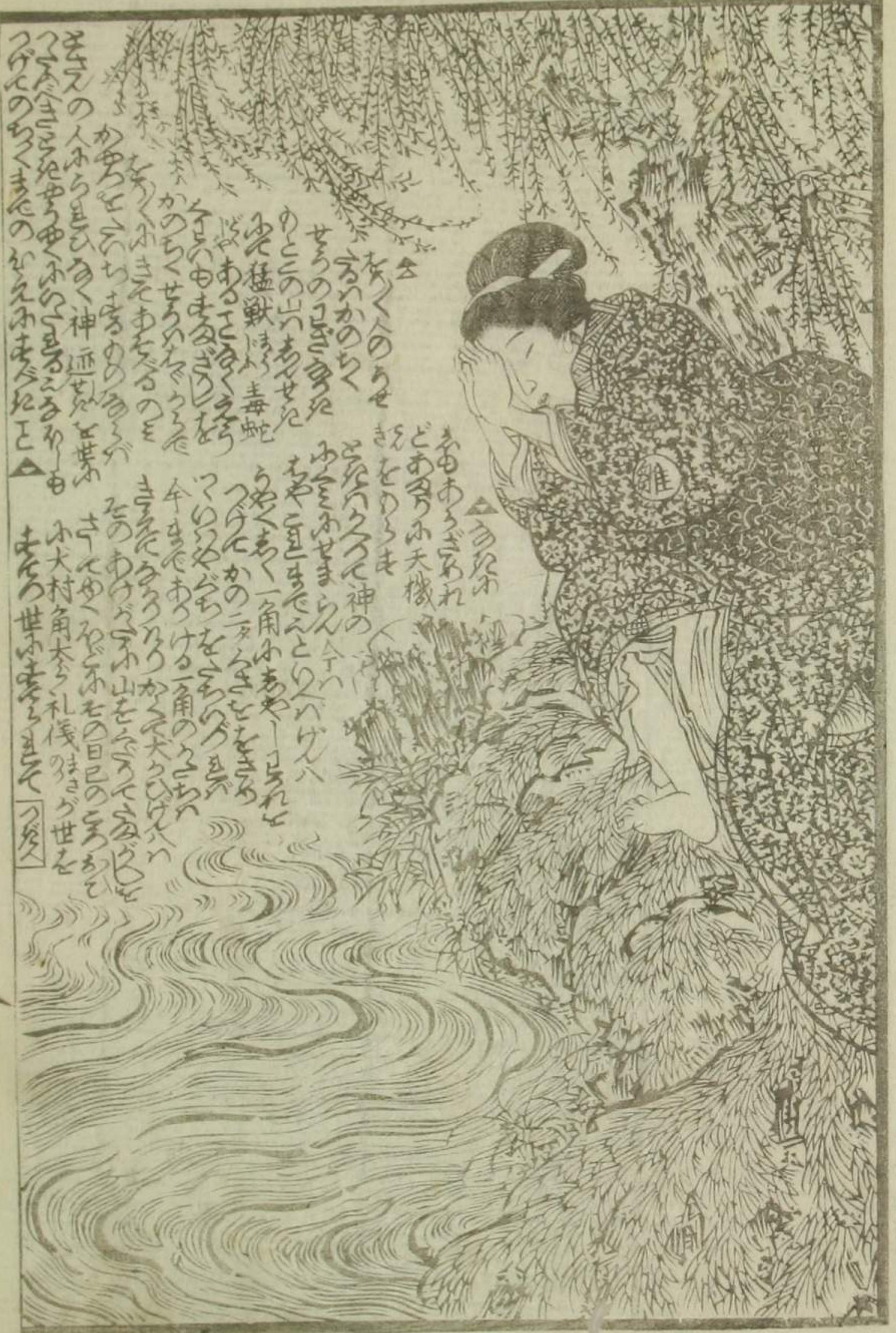
あやしき用由
又うらつたに
ゆふそのあえ
やまのまま
うりかきし
ひそし
まはし
そのトラス



あやしき用由
又うらつたに
ゆふそのあえ
やまのまま
うりかきし
ひそし
まはし
そのトラス

あやしき用由
又うらつたに
ゆふそのあえ
やまのまま
うりかきし
ひそし
まはし
そのトラス

あやしき用由
又うらつたに
ゆふそのあえ
やまのまま
うりかきし
ひそし
まはし
そのトラス





つたてふふら
 ぬゆふふら
 とのちのち
 ぬゆふふら
 とのちのち
 ぬゆふふら
 とのちのち

わじまを
 りあつて
 ぬゆふふら
 とのちのち
 ぬゆふふら
 とのちのち



あつてあつて
 ぬゆふふら
 とのちのち
 ぬゆふふら
 とのちのち
 ぬゆふふら
 とのちのち

ぬゆふふら
 とのちのち
 ぬゆふふら
 とのちのち
 ぬゆふふら
 とのちのち

ついでに... 大傳馬... 琴童鈔録... 大傳馬明二丁目

琴童鈔録



國芳画

玉を下の巻へ... 大傳馬明二丁目

香瓜赤大梅の葉

代七五孔

梅の雪 代七五孔

水夏目小中赤大梅の葉

代七五孔

梅の雪 代七五孔

花梅の葉

代七五孔

梅の雪 代七五孔

梅の雪

代七五孔

梅の雪 代七五孔

梅の雪

代七五孔

梅の雪 代七五孔

梅の雪

代七五孔

梅の雪 代七五孔

梅の雪

代七五孔

梅の雪 代七五孔

梅の雪

代七五孔

梅の雪 代七五孔

梅の雪

代七五孔

梅の雪 代七五孔

梅の雪

代七五孔

梅の雪 代七五孔

梅の雪

代七五孔

梅の雪 代七五孔

梅の雪

代七五孔

梅の雪 代七五孔

梅の雪

代七五孔

梅の雪 代七五孔

梅の雪

代七五孔

梅の雪 代七五孔

梅の雪

代七五孔

梅の雪 代七五孔

梅の雪

代七五孔

梅の雪 代七五孔

文漢堂

丁子屋平兵衛

大和門司法橋製

大傳馬明二丁目

御免のぞかんの葉... 銅 銅 銅

たん... 百七四銅







一層高岡寺

曲

十七巻下

特別
~ 13
4271
32



N13
9271
32



か
ら
し
め
侍
心
あ
ん
十七編

この物語は...
大村...
赤岩...
大村...
赤岩...
大村...
赤岩...



この物語は...
大村...
赤岩...
大村...
赤岩...
大村...
赤岩...



大村...
赤岩...

つまき角太り... 久松山... 赤岩... 赤岩の... 赤岩の...



赤岩の... 赤岩の... 赤岩の... 赤岩の... 赤岩の...



赤岩の... 赤岩の... 赤岩の... 赤岩の... 赤岩の...

つまき角太り... 久松山... 赤岩... 赤岩の... 赤岩の...



赤岩の... 赤岩の... 赤岩の... 赤岩の... 赤岩の... 赤岩の... 赤岩の... 赤岩の... 赤岩の...

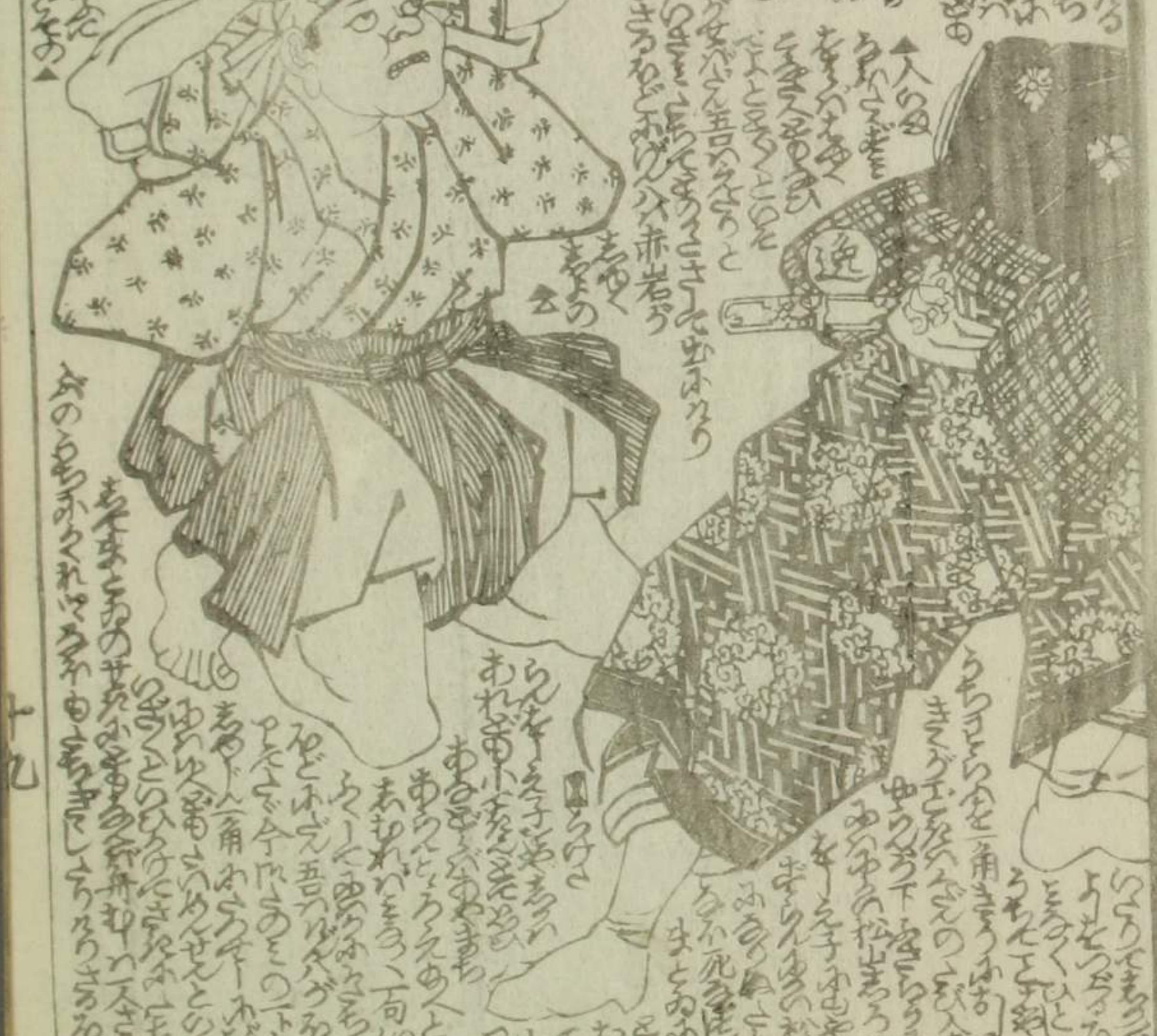


ついでに... (Vertical text at the top of the right page, likely a preface or introductory text.)



あつて... (Vertical text at the bottom of the right page, likely a postscript or continuation.)

その... (Vertical text at the top of the left page, continuing the narrative.)



あつて... (Vertical text at the bottom of the left page, continuing the narrative.)



ふたつに八つありぬ...
あつたに止宿者の...
角をさすふいぢを...
あつたに止宿者の...
角をさすふいぢを...
あつたに止宿者の...
角をさすふいぢを...



及八つあつたに...
そのあつたに...
人のあつたに...
あつたに止宿者の...
角をさすふいぢを...
あつたに止宿者の...
角をさすふいぢを...

三浦屋六郎...
あつたに止宿者の...
角をさすふいぢを...
あつたに止宿者の...
角をさすふいぢを...





候名後
 八大傳十七
 曲意、終、り、小
 文藻、
 花、
 輝

